

建設業振興基金は、小規模現場での建設キャリアアップシステム（CCUS）への就業履歴蓄積を促進するため、新たに電話発信で入場登録できるサービスを始め。コムテックス（富山県）と連携し、同社が運営するCCUS認定・入退場管理システム「キャリアリンク」の簡易版を10月から提供する。小規模現場を請け負っている元請け業者向け

のサービスとなっており、従来のプランと比べ費用が格安となる。サービス期間は2026年3月末までを予定

トキャンペーン」。初期費用と技能者のカードタッチ数への出面部金を基金が全額負担するため、元請け業

セット）のみとなる。スタンダードプランと比べて、費用を10分の1程度に抑えることができる。

蓄積促進へ新サービス

CCUSの就業履歴

建設業振興基金

者側で必要となる費用は主に基本料金（1セット当たりの年額1万5000円、最大5

キャリアリンクは、CCUS認定システムの中で唯一「電話発信」で就業履歴の蓄

積が可能なシステム。技能者が現場に入場する際に決められた電話番号に電話をかけ着信履歴を残すだけで、自動で入場記録が登録される。住宅など小規模現場を持つ事業者の間で、就業履歴蓄積の解決策としての利用が広がっているという。

（カードタッチ）が進んでいない。就業履歴は、技能者がCCUSでのレベル判定を受けするために必要な情報であり、国土交通省ではレベル別の年収目安を公表するなど、レベルアップを通じた技能者の処遇改善を目指している。

こうした現状を踏まえ、基金では、就業履歴の蓄積環境が構築されにくい、住宅リフォームなどの小規模現場で利用を促進するため、本年度から、電話などによる簡易な入退場管理デバイスの実証検討を行うとしている。

している。

キャリアリンク簡易版のプラン名は「CCUSかんたんスター

者側で必要となる費用

は主に基本料金（1

キャリアリンクは、

CCUS認定システムの中で唯一「電話